

文化財古民家詳細調査業務委託成果報告書
(旧加藤家住宅)

令和 2 年 3 月

長 久 手 市

4 整備費用（概算）

古民家（旧加藤家）保存修理／新築工事比較表（税込） 令和2年3月			
	保存修理事案	歴史的価値を活かす新築案	歴史的価値を活かす新築案
	現 位 置	現 位 置	公 用 地
	文化財保存修理 (1)	新築（鳥居建て活用） (2)	新築（鳥居建て活用） (3)
解体工事	24,400,000 円 (敷地排水含む)	22,400,000 円 (敷地排水含む)	18,050,000 円 (敷地排水含まない)
建築工事	124,540,000 円 (鉄板養生含まない) (3,193,000 円/坪)	72,090,000 円 (鉄板養生含む) (1,848,000 円/坪)	68,300,000 円 (鉄板養生含まない) (1,751,000 円/坪)
(小計)	148,940,000 円	94,490,000 円	86,350,000 円
用地費用	780 m ² (236 坪) 約 1.3 億円 (55 万円/坪)	780 m ² (236 坪) 約 1.3 億円 (55 万円/坪)	公用地
計	約 2 億 7900 万円	約 2 億 2440 万円	8635 万円

5 所見

文化財古民家の詳細調査の所見を述べる。

本古民家は、江戸時代後期、尾張、三河地方に見られる代表的架構である鳥居建て構造を持つ貴重な民家建築である。一方、長年の雨漏り、蟻害による腐食が進み構造部材全体としての健全性は大変低い状態である。愛知県を代表する民家形式を持つ建物ではあるが、損傷状態から見て保存することは困難である。

県内における代表的な民家形式を後世に残すためには、鳥居建て構造及び接続する部分の活かし取りを行い、その他の構造架構を新材とした建物を建設することが望ましいと考える。